

別紙 1

令和 7 年度(2025年度) 中山間農業研究所 研究課題一覧表

①作物分野

番号	部署	課題名	研究期間	概要
1	本	県単【異常高温を乗り越える農業創出プロジェクト】 中山間地域における気候変動に適応した水稻新品種開発と 品種選定	【組替新規】 R7～R9	糯米品種「たかやまもち」、酒米品種「ひだほまれ」に難穂発芽遺伝子を付与した 気候変動に強い品種を育成する。また、高温に強く、品質良好で中山間地域での 栽培に適した主食用水稻品種を選定する。
2	本	県単【重点研究】 飛騨地域の水稲に適した新たな低コスト環境配慮型施肥体 系の確立	R6～R10	「飛騨コシヒカリ」において収量性、食味を確保しつつ、環境配慮型かつ低コスト の施肥体系を開発する。
3	支	県単【地域密着型研究】 水稲の多様なニーズに応えるオリジナル新品種の育成	R4～R8	県内酒造業者から切望されている大吟醸酒に適する酒造好適米品種を育成す る。
4	本・ 支	県単【次世代農畜水産業のデザインプロジェクト】 加工利用米県オリジナル新品種の育成と栽培技術の確立	R3～R7	米の競争力強化を目指し、酒造好適米では美濃地域に適した新品種の育成と 栽培技術を確立する。また糯米では「たかやまもち」の高品質化を可能とする施 肥技術体系を確立する。

②野菜分野

番号	部署	課題名	研究期間	概要
1	本	県単【異常高温を乗り越える農業創出プロジェクト】 夏ホウレンソウ栽培の高温対策技術の確立	【組替新規】 R7～R9	夏季高温期の収量及び品質の安定を目的として、主要品種の良好な生育を確 保できる条件(日射量、気温)を明確化するとともに、必要となる日射量が確保で きる安価な遮光技術を開発する。
2	本・ 支	県単【異常高温を乗り越える農業創出プロジェクト】 異常高温に起因した環境変化に適応可能な夏秋トマト生産 技術の開発	【組替新規】 R7～R9	夏秋トマトの夏季高温や集中豪雨による冠水などの影響を回避するため、新た な夜間冷却システム、根圏環境の影響回避技術を開発する。また、さらに高温に なった場合を想定し、夏期の影響を回避する作型等を開発する。
3	本	県単【重点研究】 ホウレンソウ収穫機の改良による出荷調製作業の省力化技 術の開発	【新規】 R7～R11	現状は収穫後に雇用者が行っている出荷調製作業(土、下葉等の除去)を、収穫 と同時に進める収穫・調製機を開発する。
4	本	県単【農畜水産業の革新的経営環境強化プロジェクト】 AIを活用した画像解析等によるスマート生育診断・スマート商 流技術の開発	R6～R10	AIを活用した画像解析等による新たなスマート生育診断技術及び果実サイズを 予測し市場へ精度の高い情報を提供できるスマート商流技術を開発する。
5	本・ 支	県単【地域密着型研究】 中山間地域における果菜類の安定生産・コスト低減技術の開 発	R6～R10	夏秋トマト「麗夏」の出べそ果の発生要因を明らかにし、発生抑制技術を確立す るとともに、育苗に関わる省力化技術を開発する。また、夏秋なすの3Sシステム のコスト低減のための施肥体系を改善する。
6	本	県単【みどり戦略プロジェクト】 環境にやさしい生産管理技術の開発(夏秋トマト)	R6～R9	夏秋トマトを対象として、環境にやさしい有機JAS適合農業や天敵の活用技術、 新たな防除資材開発など減農薬につながる要素技術の開発と体系化を行う。
7	本	県単【みどり戦略プロジェクト】 環境にやさしい生産管理技術の開発(夏ホウレンソウ)	R5～R9	夏ホウレンソウを対象として、土壌酸度矯正、耐病性品種による発病抑制効果 を評価するとともに、カーバムナトリウム塩の有効活用技術等について検討す る。
8	本	県単【地域密着型研究】 夏ホウレンソウにおける化学農薬のリスク換算を考慮した萎 凋病防除基礎研究	R5～R7	土壌消毒剤として使用されている「クロルピクリン」は劇物であるため、普通物の 代替農薬の有効活用及び土壌酸度矯正の組合せによる萎凋病の防除効果を明 らかにする。
9	支	県単【次世代農畜水産業のデザインプロジェクト】 中山間地域の新規就農新品目を目指したカラーピーマンの 栽培管理技術の確立	R3～R7	夏秋トマトの新規就農者が増加する中で、経営の安定化を図るため、新たな組 み合わせ品目として3Sシステムを用いたカラーピーマン(パブリカ含む)の栽培管 理技術を開発する。
10	本	県単【重点研究】 大玉トマト品種「麗月」の高品質生産技術の確立による産地 競争力強化	R3～R7	大玉トマトの新品種「麗月」の適正な肥培管理方法を明らかとする。また、環境 制御により大玉化と障害果の発生抑制を図ることで、「麗月」を生産する先進的な 産地としての地位を確立する。

③花き分野

番号	部署	課題名	研究期間	概要
1	支	県単【農畜水産業の革新的経営環境強化プロジェクト】 切花フランネルフラワーの出荷・品質予測システムと品質保 持技術の開発	【新規】 R7～R10	AI等を活用したプロダクトアウトからマーケットインの生産を可能とする出荷・切 花品質予測システムの開発および品質保持技術を開発する(農技セと共同研 究)。
2	本・ 支	県単【地域密着型研究】 多様なニーズに応える中山間地の花き育種と栽培技術の開 発	【新規】 R7～R11	シクラメンについては①作型等改良による開花遅延の防止、②省力栽培が可能 な新品種の育成や技術開発③黄色系品種育種等、多様な利用方法を想定した 管理技術の開発を行う。トルコギキョウについては最新品種の特性把握を目的と して品種比較を行う。

④果樹分野

番号	部署	課題名	研究期間	概要
1	本・支	県単【異常高温を乗り越える農業創出プロジェクト】 中山間地域果樹産地の強化を目指した気候変動適応技術の開発	【組替新規】 R7～R9	作期拡大を見据えたモモ晩生品種の選定、高温障害を回避できるリンゴの樹形の検討、モモ、リンゴの台木による気候変動適応技術の検討、クリの黒変果対策の検討、甘カキの最適な導入時期の予測を行う。
2	本	県単【農畜水産業のみどり戦略プロジェクト】 IPMIによる持続可能なリンゴの病害虫防除体系の確立	【新規】 R7～R9	個々の病害虫に対するIPM技術の飛騨地域における効果を検証するとともに、これら技術を組合わせた防除体系を確立する。
3	支	外資【農林水産省委託プロジェクト】 食料安全保障強化に向けた革新的新品種開発プロジェクト スマート技術向けの特性を持つ果樹品種の開発	R6～R7	従来のクリ育種では着目されてこなかったイガ落ち性について再評価し、収穫機械に適した品種・系統を選抜するとともに、収穫機械の導入による省力効果を最大限発揮するための管理技術を開発する。
4	本	県単【地域密着型研究】 モモ、リンゴ等の生産安定技術開発と品種選定	R4～R8	モモの耐凍性台木「ひだ国府紅しだれ」の改良育苗体系を開発すると共に新たな台木を育成する。リンゴでは、雪に強い新仕立て法について検証する。さらに、モモとリンゴの新品種について飛騨地域への適応性を評価する。
5	支	県単・外資【地域密着型研究】 クリ産地維持・拡大に向けた新品種育成および安定生産技術の開発	R4～R8	実需のニーズに適した新品種、温暖化に適応できる新品種の育成、県育成品種の安定生産のための栽培技術を開発する。また、ドローンやAIなど活用し、生育情報を効率的に高い精度で提供する手法を確立する。
6	支	県単【次世代農畜水産業のデザインプロジェクト】 クリ栽培の省力化に向けた機械化体系の構築	R3～R7	クリ栽培の省力化を目指した機械化体系を構築するため、無人航空機による防除や収穫作業の機械化を開発するとともに、これら機械化体系に適した樹形を開発する。